

クリスマスもお正月もちょっとだけ ～冬休みのすごしかた～

今日で2学期は終わりました。クリスマスにお正月……、楽しい冬休みがやってきた！といきたいところですが、今年は「受験」が控えています。この楽しみはちょっとだけにして、早く受験モードに切り替えてください。3学期は以下のように進路獲得に向けて重要な日程が続きます。

1月7日(木) 始業式

1月8日(金)、12日(火) 第5回実力テスト

1月25日(月)～27日(水) 学年末テスト

1月27日(水) 私学出願

2月10日(水) 私学入試

2月15日(月) 公立特別入試出願

2月22日(月)～23日(火) 公立特別入試 [3月1日(火)合格発表]

3月3日(木) 公立一般入試出願

3月10日(木) 公立一般入試 [3月18日(金)合格発表]

第5回実力テストは、公立一般入試の受検校を決定する重要な資料となります。学年末テストの結果は公立一般入試の評定に入ります。そしていよいよ本番、2月10日(火)は私学の入試が行われます。

冬休みは12日間と短いので、進路に向けた学習は弱点の補強を目標に実力テストに備えましょう。各教科の自分の弱い単元に絞って問題を解き、必ず答え合わせをして、できなかった問題はできるようになるまで繰り返し解きます。

休みに入ると、ついつい夜遅くまで起きて朝起きるのも遅くなる、夜型の生活になります。しかし入試は午前中に行われます。夜型では午前中に頭が回転せず、実力が発揮できません。冬休みは規則的な生活を心がけ、朝型を維持しましょう。

暖房の効かせすぎにも注意しましょう。「頭寒足熱」といって足もとを暖め上半身は涼しいぐらいが健康にも良く、頭がさえて勉強がはかどります。

いよいよラストスパート。今一度計画を見直し、悔いを残さないように頑張りましょう。

進路相談で合否は決まらない～私学進路相談～

12月21日に進路懇談が終了し、進学の人は、受験する私学や公立特別入試校を絞り込んだと思います。その内容については、24日に、校長先生はじめ主だった先生方と3年の



先生方で会議を開き、皆さん一人一人の進路について妥当かどうか検討しました。その結果は、懇談会での担任の先生との話と異なる場合のみ、連絡させていただきました。

1月7日(木)から私学の進路相談が始まります。そこでは前にもお知らせしましたが、本校教員が高校の先生と皆さんの合格の可能性について相談します。これで合否が決定するわけではありません。

相談で高等学校等に提示する個人情報は、これまでのテストの得点、通知票の評定、クラブ活動や委員会活動で顕著な活動を行った事実、英検、漢検、数検の資格などです。

保護者や兄姉がその学校に在籍・卒業している場合、有利に扱われることがあるので、その方の名前と学年・卒業年度を担任の先生に知らせてください。

進路懇談で、私学の受験校(進路相談に行く学校)を決定しました。多くの学校を見学し、自分の学力を考え、いっぱい悩み、家族や担任の先生ともよく相談して決めた進路です。変更することはないと思いますが、万一冬休み中に考え直す必要が出てきましたら、1月5日(火)までにできるだけ早くに担任の先生と相談してください。1月6日(水)以降では進路相談に間に合いません。12月29(火)～1月3日(日)はほとんどの先生は出勤しませんので、担任の先生への連絡は難しくなります。

また、進路懇談で決定した内容と異なる科やコースで出願するつもりの人(例えば「懇談で『進学コース』に決定したが回し合格を考えて『特進コース』で出願する」等)も、5日(火)までに担任の先生に申し出てください。

もう提出しましたか？—私学願書取得

進路だより14号でもお知らせしましたが、私学の願書は取得できましたか？今日現在で、およそ半分の人が担任に願書を提出しています。1月7日(木)の3学期始業式には、必ず全員提出してください。

まだ私学の願書を取得していない人は、1月6日(水)までに高校に取得に行ってください。多くの私学は、12月25日(金)までと1月4日(月)からしか窓口が開いていません。取得には、必ず正しい制服で、徒歩か電車、バスで行ってください。

公立高校自己申告書—アドミッションポリシーにもとづく

公立高校受験者は自己申告書を提出します。特別入試で面接のある高校では自己申告書の比率が高く、他の高校もボーダーゾーンに入ると重要な合否判定の資料になります。

自己申告書は各高校ごとで別々のアドミッションポリシーにもとづかなければなりません。こういう文章はとにかく書かなければ表現力はつきません。冬休みの国語の宿題として出されていますが、必ず書きましょう。